

日刊木材新聞（11頁） 2023年（令和5年）7月20日（木）掲載

### 幅広い研究成果を発表

岐阜県森林研究所（岐阜県美濃市、藤掛雅洋所長）は14日、「2023年度研究成果発表会」を、わかさプラザ（関市）で開催した。今回は5講演（研究発表）のほか、ポスター発表で同所と長野県林業総合センターの7つの研究成果を紹介した。

研究発表で、同所森林資源部の和多田友宏氏は、壊れにくい森林作業道の排水処理の留意すべき点について同所の調査結果を含めて紹介した。また、同部の土肥基生氏は、早生樹であることから近年関心を集めているコウヨウザンの建築材料としての性質について報告した。

このほか、同部の水谷和人氏は、酢酸がキノコの菌糸伸長に及ぼす影響について、森林環境部の大橋章博氏は、ツリーシェルターの取り外し時期について、森林資源部の臼田寿生氏は、「ぎふ森林情報WebMAP」を活用した山地災害リスクの把握方法について紹介した。

岐阜県森林研究所ホームページ掲載期限:令和6年8月1日  
この記事は日刊木材新聞社の許可を得て使用しています。